



## 両方向ウォーキングスルーブース

### KK-WT-01 : 基本モデル

(※) 本装置はPPE（個人用防護具）であり、ウイルスからの完全な隔離を保証するものではありません。



KOREA KIYON(高麗技研)では、従来の陰圧(左側)装備の限界点を補うため、陽圧(右側)も可能な装置を開発しました。

従来の装置では、被検査者が内部に入って診察を受けましたが、その際に医療者は、防護具を着用した状態で外部から長時間診察を行うため、身体の自由度が奪われ疲労度が高くなります。

そこでKIYON社は、医療者が陽圧のブースの中に入って被検査者を診察する方式を考案しました。

ブース内部の圧力を陽圧とし空気を外に押し出すことでブース外部の汚れた空気が内部に流入することを防ぎ、医療者が過剰な防護具を着用する負担を軽減します。

また検査終了後、消毒にかかる時間を画期的に減らし、全体の検査工程が従来の30分から10分程度に短縮されるというメリットがあります。



## 1.モデル種類（構成）

### 1) KK-WT-01 基本モデル（ポートサイズ 8インチ）

耐薬用グローブ使用、診察ごとに消毒することを想定

- 2ポート双方向 陰/陽圧診察
- Dimension: 1,000(W) X 1,000(D) X 2,500(H)mm
- Glove: Chemical Resistance, 1 pair
- HEPA Filtering System / LED Lighting
- Shelf / Intercom

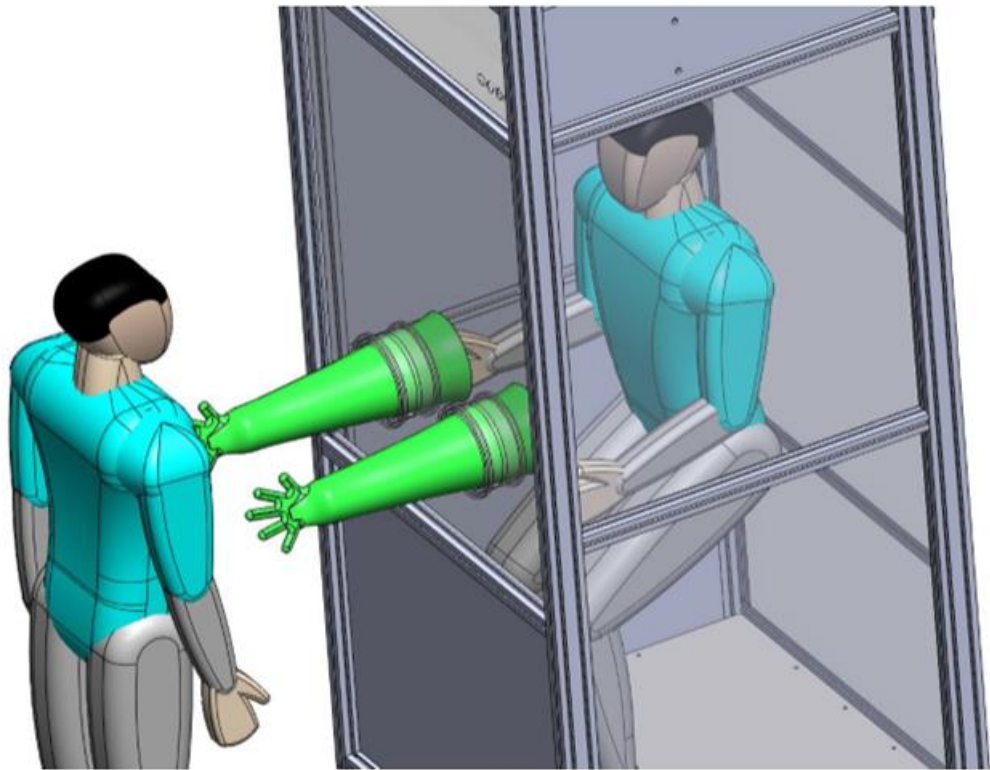


### ※開発中 2) KK-WT-04（ポートサイズ 6インチ）

使い捨てグローブを診察ごとに付け替えて使用することを想定  
ポートサイズ以外の規格はKK-WT-01に準じます。

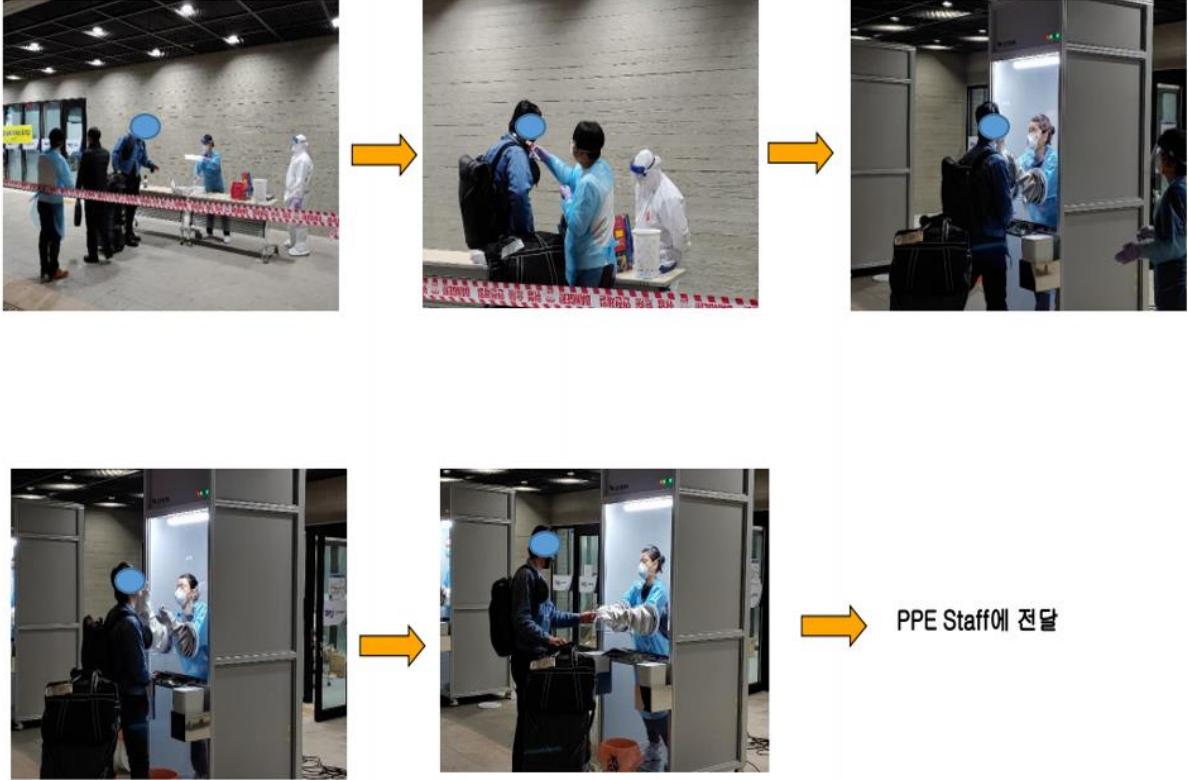
## 2. 特徴

- ・ K I Y O N社のグローブボックス技術を応用し、防護具が要らないレベルの気密性能を有します。
- フィルターを通した清浄な空気を取り込むことで、ストレスの少ない作業やスムーズな呼吸が可能となります（※）
- ・ブース内の医療者の防護具着用による負担を最小限に抑え、疲労度軽減に寄与します。
- ・グローブ消毒が簡単で検査工程時間を短縮し、診断の効率性を高めます。



- （※）本装置はP P E（個人用防護具）であり、ウイルスからの完全な隔離を保証するものではありません。

### 3. 検査プロセス



KOREA

## 4. 動作方法（オペレーション）

### 1. 電源プラグをコンセントに繋ぐ



### 2. POWER ボタンを押して電源を入れる（POWER ON）



3. Lamp ボタンを押して内部のLED灯をON/OFF



4. 医療者がブースの中に入る場合には内部の圧力を上げる為、陽圧 (Positive) ボタンを押す。



5. ブースの中に入りドアを閉める。



KOREA



## 5. グローブ交換（逆順）



